

土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」(令和3年6月版)の正誤内容

ページ・行	誤	正																																																																
p. 17 5行目	解説・河川管理施設等構造令(河川管理施設等構造令研究会編、日本河川協会)	解説・河川管理施設等構造令(国土開発技術研究センター編、日本河川協会)																																																																
p. 23 3行目	地盤調査法(地盤工学会) 土質試験の方法と解説(地盤工学会)	地盤調査の方法と解説(地盤工学会) 地盤材料試験の方法と解説(地盤工学会)																																																																
p. 126 表	<p style="text-align: center;"><b>表-4.3.2</b> 路線沿いの地質に対する標準土質試験</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質試験名</th> <th>試験により得られる結果</th> <th>JIS</th> <th>JGS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土の密度試験 土の湿潤密度試験</td> <td>土の湿潤密度 <math>\rho_t</math>、乾燥密度 <math>\rho_d</math></td> <td>A 1214-2001 A 1225-2000</td> <td>0191-2000</td> </tr> <tr> <td>土の粒度試験</td> <td>土の粒度分布</td> <td>A 1204-2000</td> <td>0131-2000</td> </tr> <tr> <td>土の液性限界・ 塑性限界試験</td> <td>液性限界 <math>w_L</math>、塑性限界 <math>w_p</math> 塑性指数 <math>I_p</math></td> <td>A 1205-1999</td> <td>0141-2000</td> </tr> <tr> <td>土の一軸圧縮試験</td> <td>一軸圧縮強さ <math>q_u</math>、変形係数 <math>E_{50}</math></td> <td>A 1216-1998</td> <td>0511-2000</td> </tr> <tr> <td>土の三軸圧縮試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0521~0524-2000</td> </tr> <tr> <td>一面せん断試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0560~0561-2000</td> </tr> <tr> <td>ねじりせん断試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0551-1998</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) JIS：日本産業規格、JGS：地盤工学会基準  2) 現場密度試験の詳細は、「地盤調査の方法と解説」(地盤工学会)1)を参照のこと。  3) 現場密度試験以外の試験は、「土質試験の方法と解説(第一回改訂版)」(地盤工学会)2)を参照のこと。  4) 土の湿潤密度試験(JGS 0191)は、一般にサンプリングによる自立する塊状の試料に対して行われる。  5) 土の三軸圧縮試験には、非圧密非排水(UU)、圧密非排水(CU)、圧密非排水(<math>\overline{CU}</math>)、圧密排水(CD)などの試験法がある。  6) せん断強度定数 <math>c</math>：粘着力、<math>\phi</math>：内部摩擦角(せん断抵抗角)[本技術書では、一般に呼称されている用語、内部摩擦角を使用する。]</p>	土質試験名	試験により得られる結果	JIS	JGS	土の密度試験 土の湿潤密度試験	土の湿潤密度 $\rho_t$ 、乾燥密度 $\rho_d$	A 1214-2001 A 1225-2000	0191-2000	土の粒度試験	土の粒度分布	A 1204-2000	0131-2000	土の液性限界・ 塑性限界試験	液性限界 $w_L$ 、塑性限界 $w_p$ 塑性指数 $I_p$	A 1205-1999	0141-2000	土の一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ $q_u$ 、変形係数 $E_{50}$	A 1216-1998	0511-2000	土の三軸圧縮試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0521~0524-2000	一面せん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0560~0561-2000	ねじりせん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0551-1998	<p style="text-align: center;"><b>表-4.3.2</b> 路線沿いの地質に対する標準土質試験</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>土質試験名</th> <th>試験により得られる結果</th> <th>JIS</th> <th>JGS</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土の密度試験 土の湿潤密度試験</td> <td>土の湿潤密度 <math>\rho_t</math>、乾燥密度 <math>\rho_d</math></td> <td>A 1214 A 1225</td> <td>0191</td> </tr> <tr> <td>土の粒度試験</td> <td>土の粒度分布</td> <td>A 1204</td> <td>0131</td> </tr> <tr> <td>土の液性限界・ 塑性限界試験</td> <td>液性限界 <math>w_L</math>、塑性限界 <math>w_p</math> 塑性指数 <math>I_p</math></td> <td>A 1205</td> <td>0141</td> </tr> <tr> <td>土の一軸圧縮試験</td> <td>一軸圧縮強さ <math>q_u</math>、変形係数 <math>E_{50}</math></td> <td>A 1216</td> <td>0511</td> </tr> <tr> <td>土の三軸圧縮試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0521~0524</td> </tr> <tr> <td>一面せん断試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0560~0561</td> </tr> <tr> <td>ねじりせん断試験</td> <td>せん断強度定数 <math>c</math>、<math>\phi</math></td> <td>—</td> <td>0551</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) JIS：日本産業規格、JGS：地盤工学会基準  2) 現場密度試験の詳細は、「地盤調査の方法と解説」(地盤工学会)1)を参照のこと。  3) 現場密度試験以外の試験は、「地盤材料試験の方法と解説」(地盤工学会)2)を参照のこと。  4) 土の湿潤密度試験(JGS 0191)は、一般にサンプリングによる自立する塊状の試料に対して行われる。  5) 土の三軸圧縮試験には、非圧密非排水(UU)、圧密非排水(CU)、圧密非排水(<math>\overline{CU}</math>)、圧密排水(CD)などの試験法がある。  6) せん断強度定数 <math>c</math>：粘着力、<math>\phi</math>：内部摩擦角(せん断抵抗角)[本技術書では、一般に呼称されている用語、内部摩擦角を使用する。]</p>	土質試験名	試験により得られる結果	JIS	JGS	土の密度試験 土の湿潤密度試験	土の湿潤密度 $\rho_t$ 、乾燥密度 $\rho_d$	A 1214 A 1225	0191	土の粒度試験	土の粒度分布	A 1204	0131	土の液性限界・ 塑性限界試験	液性限界 $w_L$ 、塑性限界 $w_p$ 塑性指数 $I_p$	A 1205	0141	土の一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ $q_u$ 、変形係数 $E_{50}$	A 1216	0511	土の三軸圧縮試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0521~0524	一面せん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0560~0561	ねじりせん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0551
土質試験名	試験により得られる結果	JIS	JGS																																																															
土の密度試験 土の湿潤密度試験	土の湿潤密度 $\rho_t$ 、乾燥密度 $\rho_d$	A 1214-2001 A 1225-2000	0191-2000																																																															
土の粒度試験	土の粒度分布	A 1204-2000	0131-2000																																																															
土の液性限界・ 塑性限界試験	液性限界 $w_L$ 、塑性限界 $w_p$ 塑性指数 $I_p$	A 1205-1999	0141-2000																																																															
土の一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ $q_u$ 、変形係数 $E_{50}$	A 1216-1998	0511-2000																																																															
土の三軸圧縮試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0521~0524-2000																																																															
一面せん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0560~0561-2000																																																															
ねじりせん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0551-1998																																																															
土質試験名	試験により得られる結果	JIS	JGS																																																															
土の密度試験 土の湿潤密度試験	土の湿潤密度 $\rho_t$ 、乾燥密度 $\rho_d$	A 1214 A 1225	0191																																																															
土の粒度試験	土の粒度分布	A 1204	0131																																																															
土の液性限界・ 塑性限界試験	液性限界 $w_L$ 、塑性限界 $w_p$ 塑性指数 $I_p$	A 1205	0141																																																															
土の一軸圧縮試験	一軸圧縮強さ $q_u$ 、変形係数 $E_{50}$	A 1216	0511																																																															
土の三軸圧縮試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0521~0524																																																															
一面せん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0560~0561																																																															
ねじりせん断試験	せん断強度定数 $c$ 、 $\phi$	—	0551																																																															
p. 284 11行目	注 3) 再生骨材の使用については、アスファルト成分(殻)の固化による集中荷重(点支持)や製造過程で混入金属等を除去しきれない場合があるので注意が必要である。また、「建設汚泥リサイクル指針」等を参考に環境への影響についても検討する必要がある。	注 3) 再生骨材の使用については、アスファルト成分(殻)の固化による集中荷重(点支持)や製造過程で混入金属等を除去しきれない場合があるので注意が必要である。また、「建設汚泥再生利用マニュアル」等を参考に環境への影響についても検討する必要がある。																																																																

ページ・行	誤	正
p. 290 <b>10行目</b>	$\frac{e^{2K \cdot \mu(H_c / D_c)} - 1}{2K \cdot \mu} \left\{ \frac{1}{2K \cdot \mu} + \left( \frac{H}{D_c} - \frac{H_c}{D_c} \right) + \frac{\gamma_{sd} \cdot P}{3} \right\}$ $+ \frac{1}{2} \left( \frac{H_c}{D_c} \right)^2 + \frac{\gamma_{sd} \cdot P}{3} \left( \frac{H}{D_c} + \frac{H_c}{D_c} \right) e^{2K \cdot \mu(H_c / D_c)}$ $- \frac{1}{2K \cdot \mu} \cdot \frac{H_c}{D_c} - \frac{H}{D_c} \cdot \frac{H_c}{D_c} = \gamma_{sd} \cdot P \cdot \frac{H}{D_c} \dots\dots\dots (9.3.8)$	$\frac{e^{2K \cdot \mu(H_c / D_c)} - 1}{2K \cdot \mu} \left\{ \frac{1}{2K \cdot \mu} + \left( \frac{H}{D_c} - \frac{H_c}{D_c} \right) + \frac{\gamma_{sd} \cdot P}{3} \right\}$ $+ \frac{1}{2} \left( \frac{H_c}{D_c} \right)^2 + \frac{\gamma_{sd} \cdot P}{3} \left( \frac{H}{D_c} + \frac{H_c}{D_c} \right) e^{2K \cdot \mu(H_c / D_c)}$ $- \frac{1}{2K \cdot \mu} \cdot \frac{H_c}{D_c} - \frac{H}{D_c} \cdot \frac{H_c}{D_c} = \gamma_{sd} \cdot P \cdot \frac{H}{D_c} \dots\dots\dots (9.3.8)$
p. 363 <b>3行目</b>	$\varepsilon_{ti} = \frac{(D_c - t)v}{2t} \cdot \left( \frac{P_1}{E_L} + \frac{P_2}{E_S} \right) \dots\dots\dots (9.6.17)$	$\varepsilon_{ti} = \frac{(D_c - t)v}{2t} \cdot \left( \frac{P_1}{E_L} + \frac{P_2}{E_S} \right) \dots\dots\dots (9.6.17)$
p. 613 <b>12行目</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 地盤工学会: <u>地盤調査の方法と解説(2004)</u></li><li>2) 地盤工学会: <u>土質試験の方法と解説-第一回改訂版-(2000)</u></li></ol>	<ol style="list-style-type: none"><li>1) 地盤工学会: <u>地盤調査の方法と解説</u></li><li>2) 地盤工学会: <u>地盤材料試験の方法と解説</u></li></ol>